

OpenLM Server 5.6からMariaDBの使用

OpenLM製品は今後Firebird内蔵データベースをサポートしません。OpenLM Server バージョン5.6ではFirebirdデータをMariaDBへ移行するユーティリティツールを用意しています。本書は既存FirebirdデータベースをMariaDBに切り替える移行ツールの使い方の説明です。

もしFirebirdデータベースエンジンでOpenLM Serverをまだご使用でしたら、継続もできますが、可能な限り早急にMariaDBに切り替えることを推奨します。

バージョン5.6のインストールは今後リリースされるバージョンへのアップグレードを希望する全てのOpenLMユーザーにとって必須のステップです。

他のサポートしているデータベースエンジンをご使用の場合は（MS SQL / MY SQL）、何もする必要はございません。

まだFirebirdデータベースを使用している場合取る一般的なプロセスは:

1. 営業sales@openlm.comにバージョン5.6のライセンスファイルを依頼する。
2. OpenLM Server 5.6にアップグレードし、通常通り使用を継続する。
3. MariaDBに切り替えるタイミングをスケジュールし実行する。

下記のMariaDBのインストールと設定を参照。

1. MariaDBの準備が整ったら、データベース移行を開始する。
OpenLM ServerサービスをWindowsサービスで停止する。
2. OpenLM Server 5.6のインストールで出来たfb2mariadbユーティリティ・データ移行ツールを使用する。下記セクションにて詳細を参照してください。
3. データベースの移行に成功したら、OpenLM Server 5.6のインストールで出来た DB Configuration ToolでMariaDBに切り替え、OpenLM ServerサービスをWindowsサービスで開始する。下記セクションで詳細を参照してください。データ移行成功後に



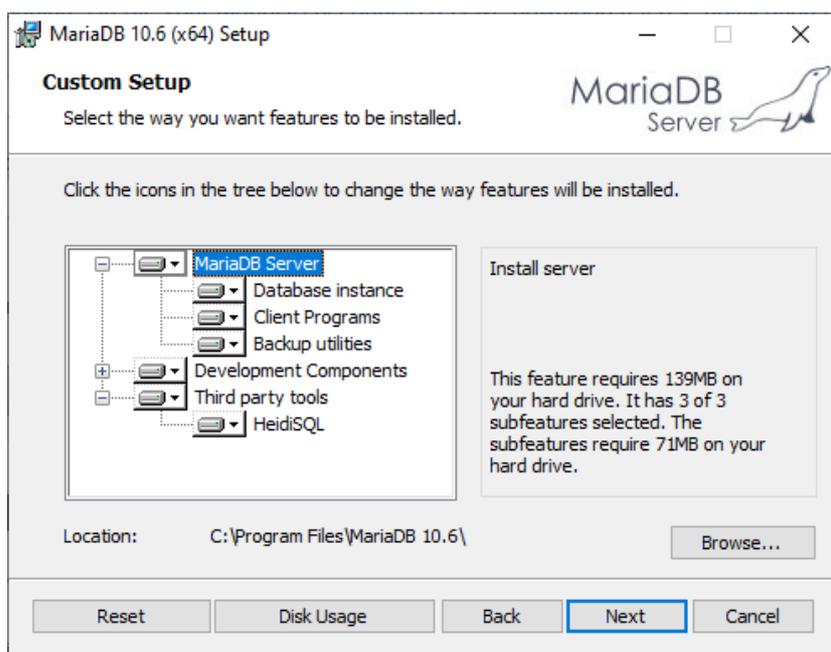
fb2mariadbユーティリティの画面にはショートカットのボタンが出ます。

- もしデータベースの移行が失敗した場合、a) OpenLM Serverサービスをリスタートする(Firebirdデータベースの状態)そしてb) エラーの詳細をOpenLMサポートに説明する (support@openlm.com)。

MariaDBのインストールと設定

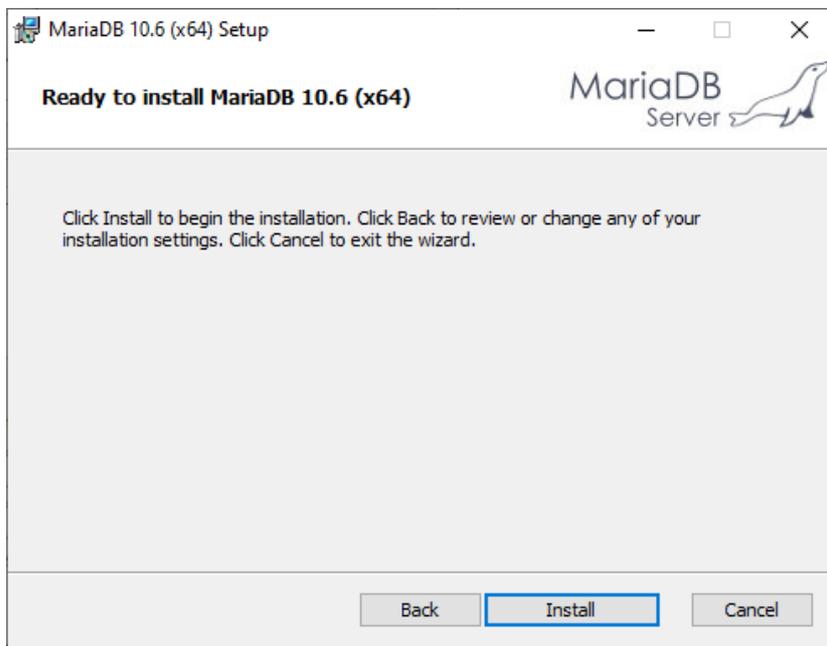
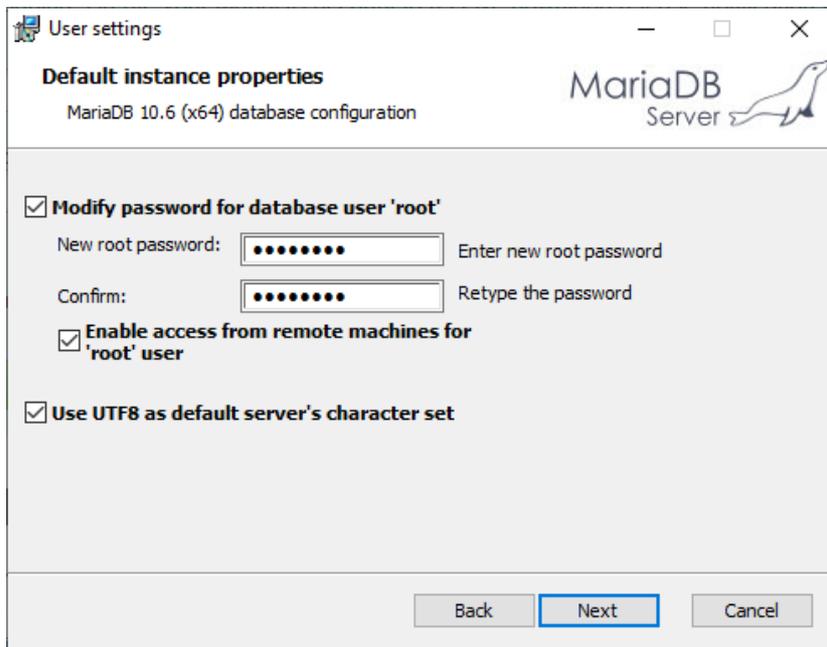
公式サイトからMariaDBをダウンロードしてください。最新バージョンが適切です。

インストールをお望みの機能を選択し、**Next (次へ)** をクリックしてください。



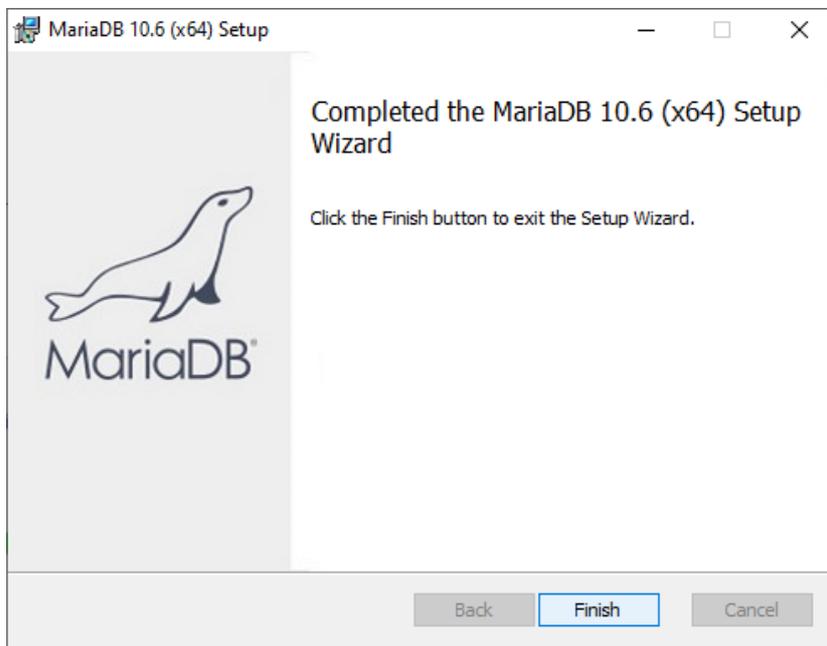
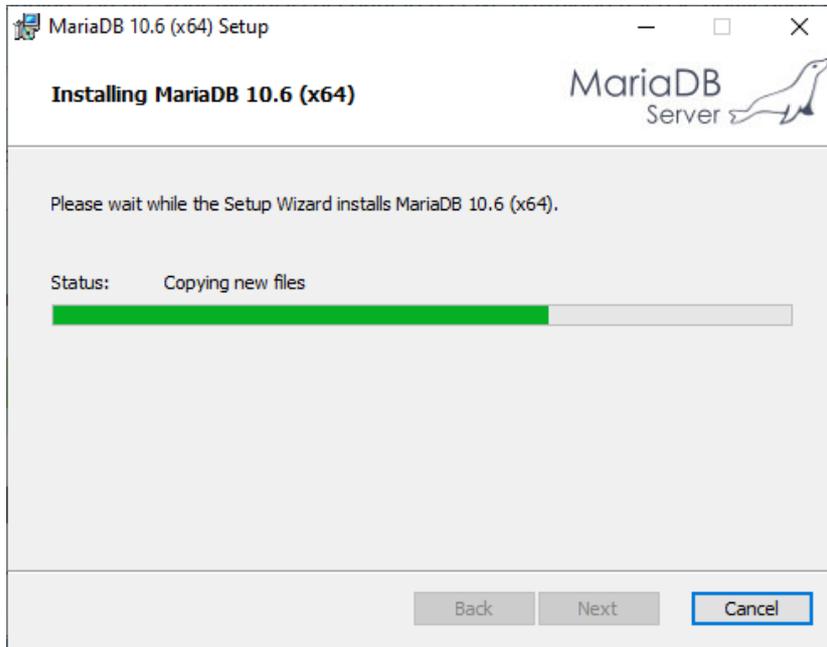
データベースにパスワードを設定してください。UTF8がデフォルト文字セットとして維持されなければなりません。**Next (次へ)** をクリックし、次のプロンプトで**Install (インストール)** をしてください。





インストールが完了したら、**Finish (完了)** ボタンをクリックしてください。



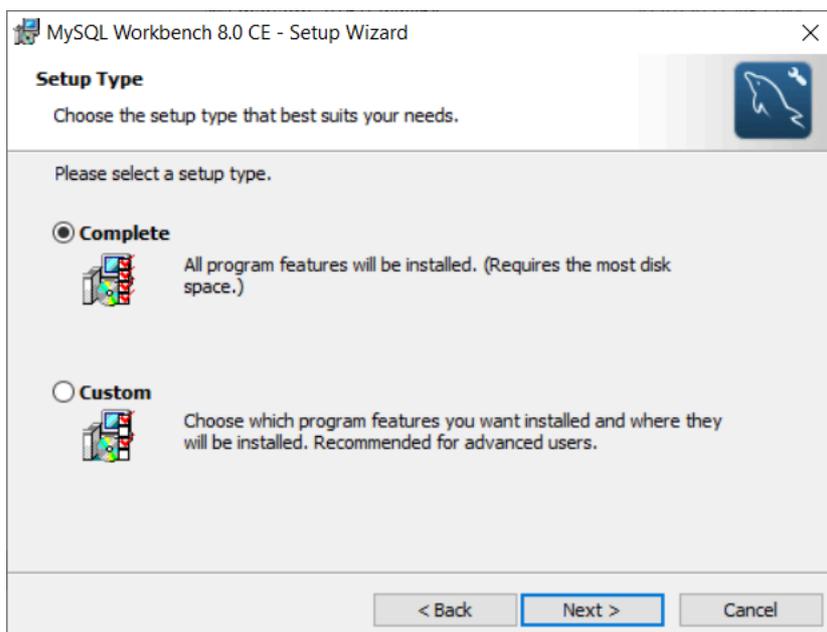
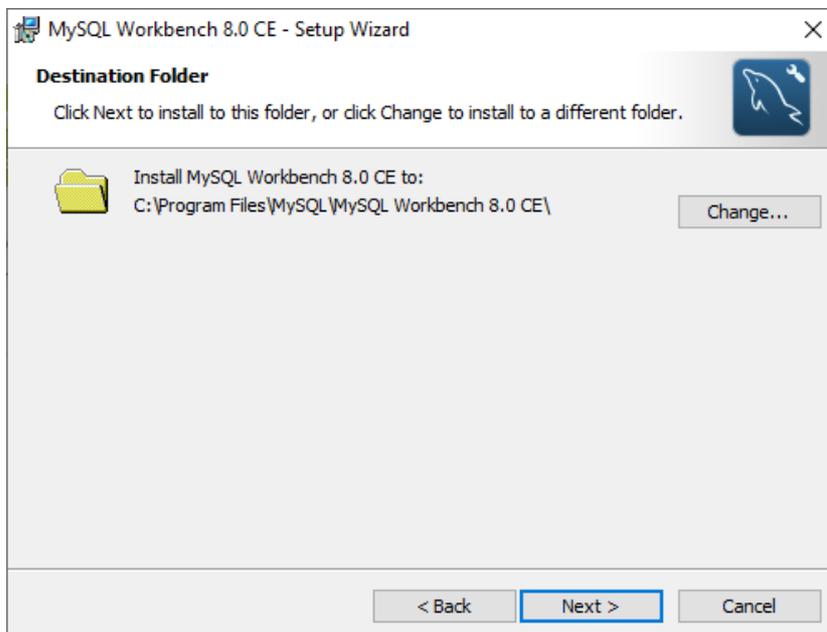
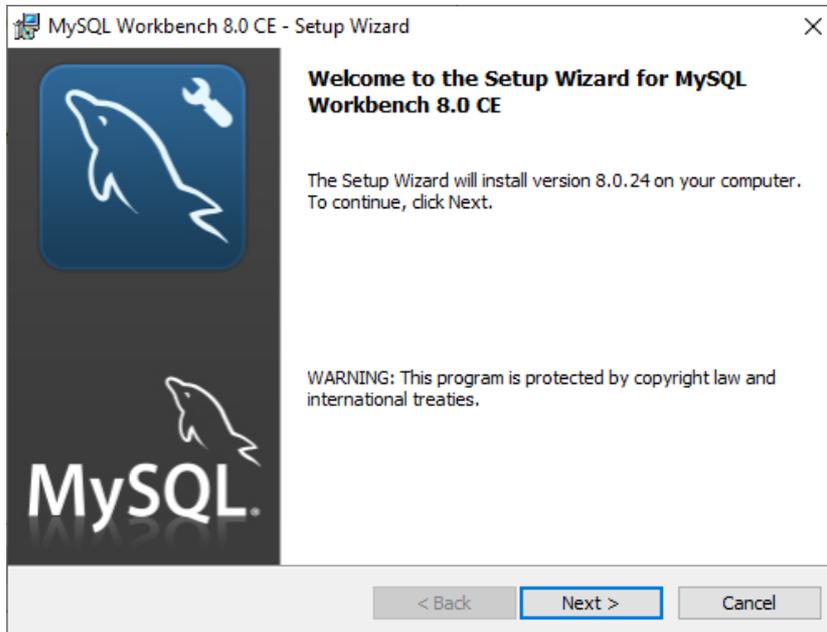


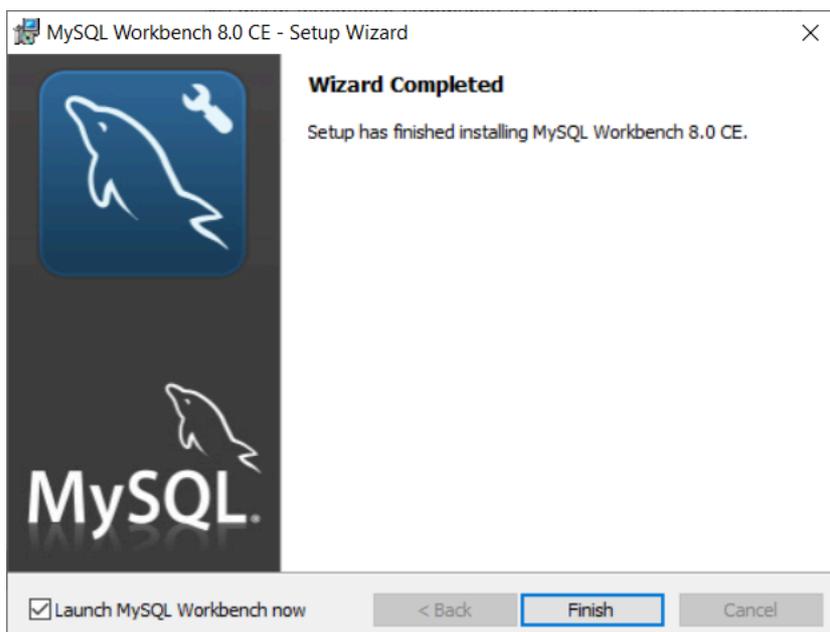
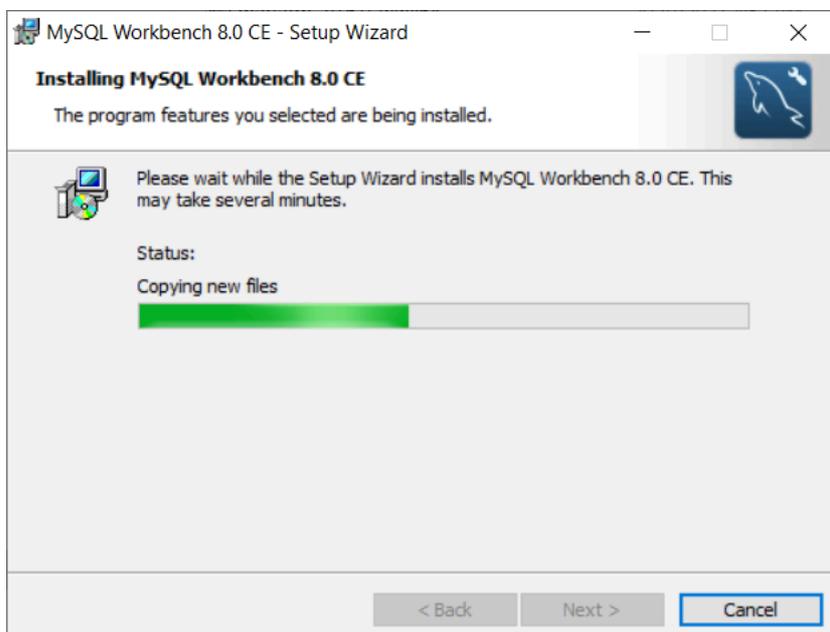
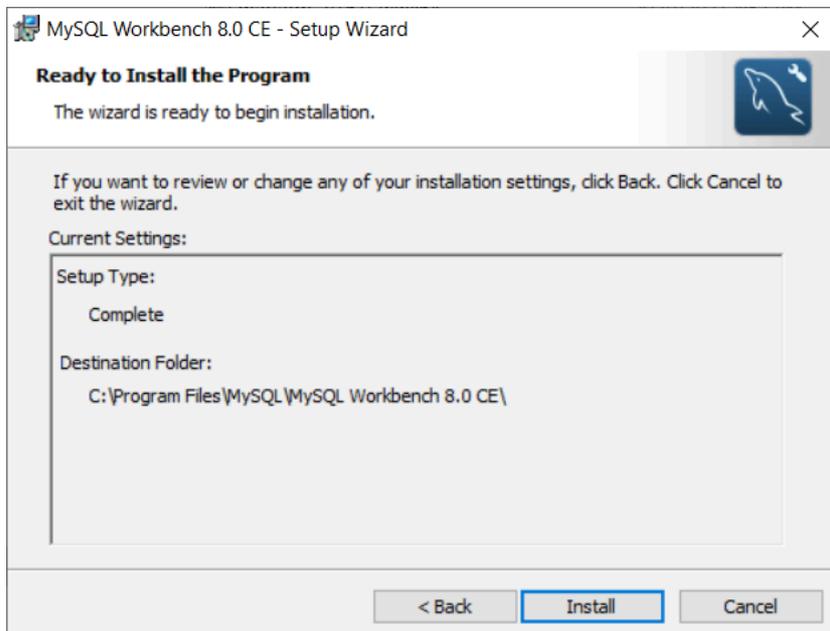
MySQL Workbenchのインストール

容易な管理のため、MySQL Workbenchのダウンロードをお勧めします：

1. インストールするにはパッケージをダブルクリックしてください。 **Next(次)** の指示に従ってください:



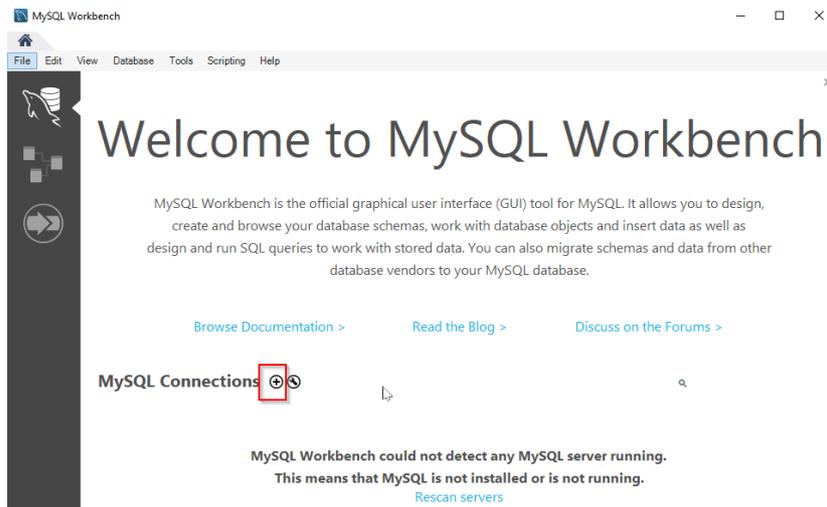




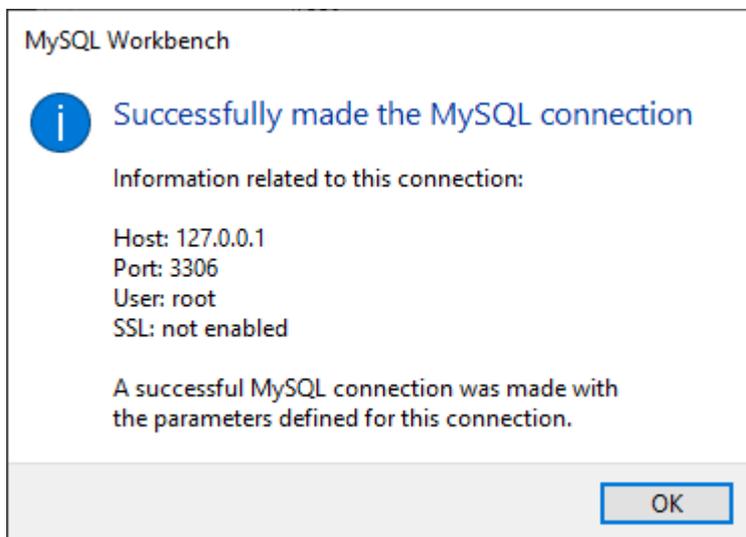
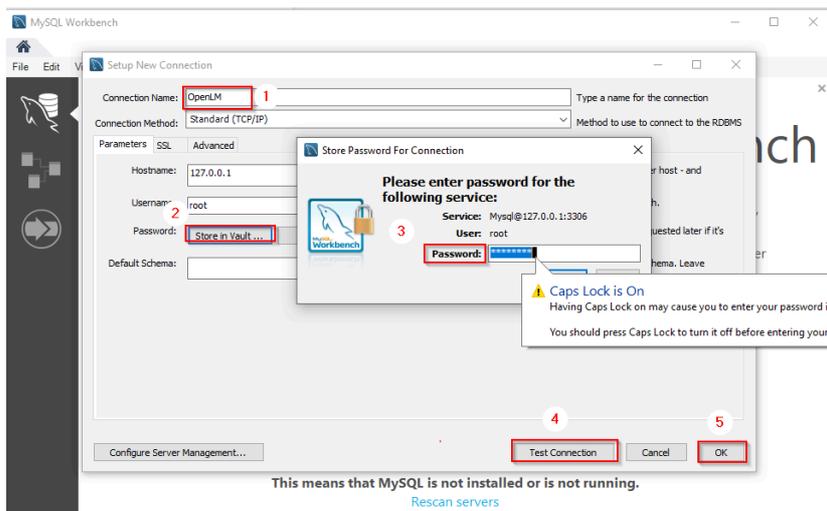
完了した後すぐに、Workbenchが自動的に立ち上がります:



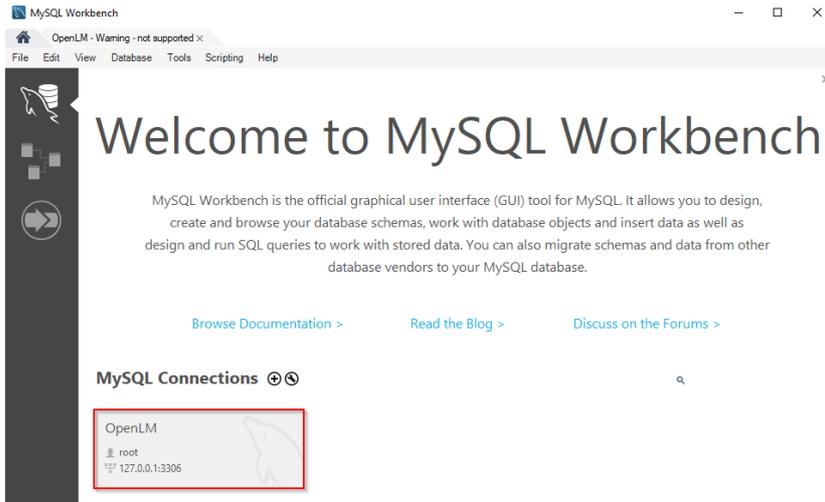
+をクリックして新しい接続を作成します。



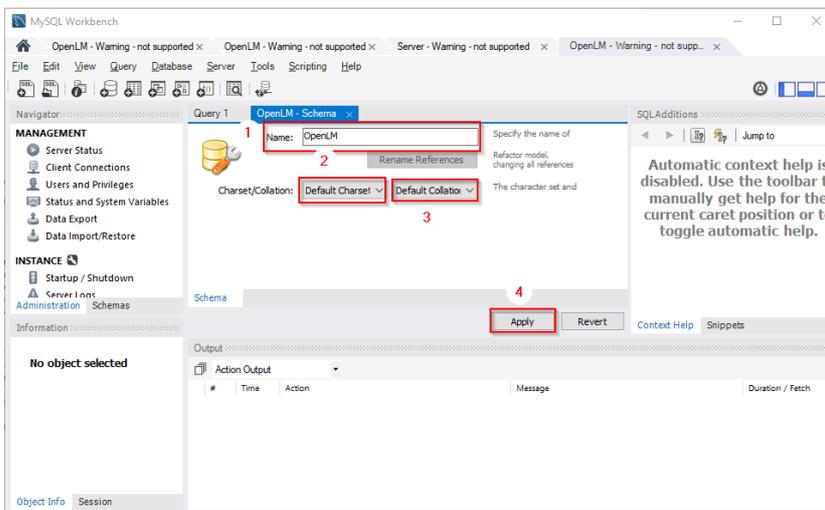
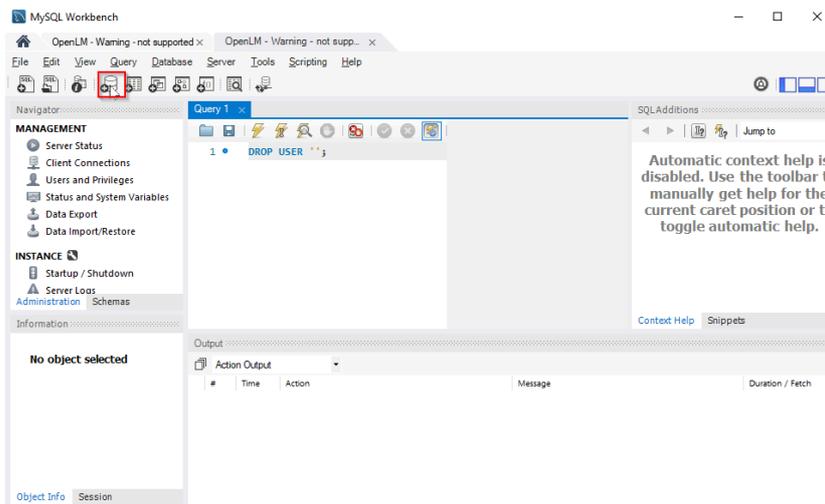
1. 接続名を入力
2. パスワードを入力
3. 接続をテスト
4. OKをクリック
5. 接続の作成に成功しましたというプロンプトが現れます



1. 新しく追加された接続をクリックします。

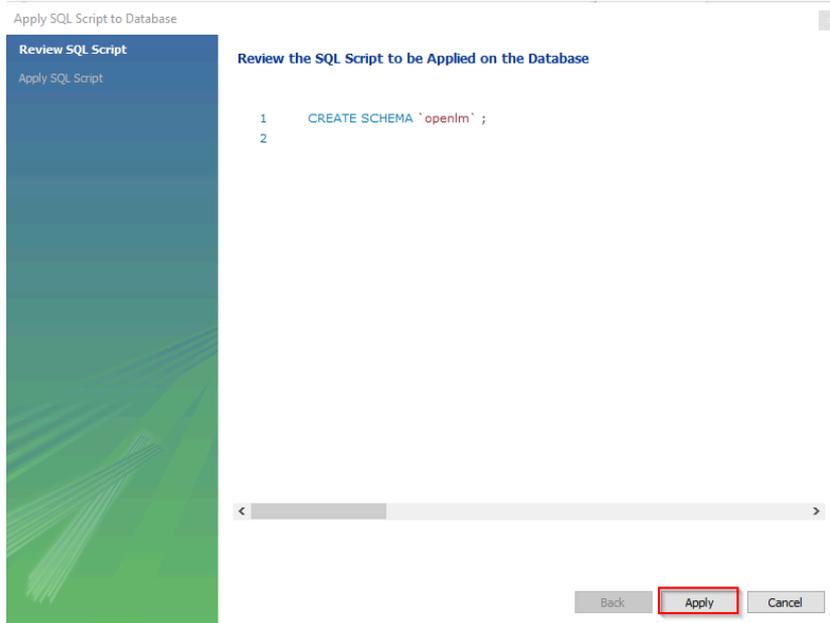


1. 下の図の赤い部分をクリックし、接続したサーバーで新しいスキーマを作成します。



スクリプトを見直し、**Apply (適用)** をクリック。



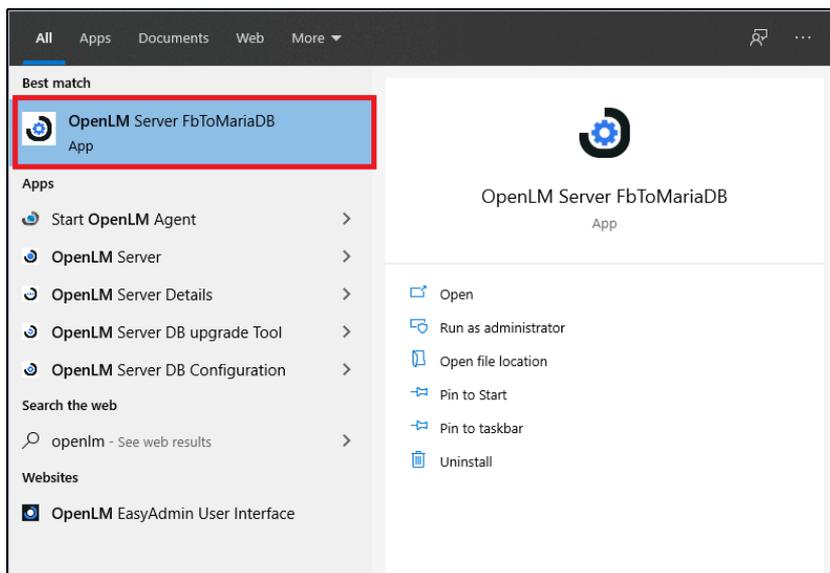


これでMariaDBがインストールされ設定され、Firebirdデータベースからのデータ移行の準備が整いました。

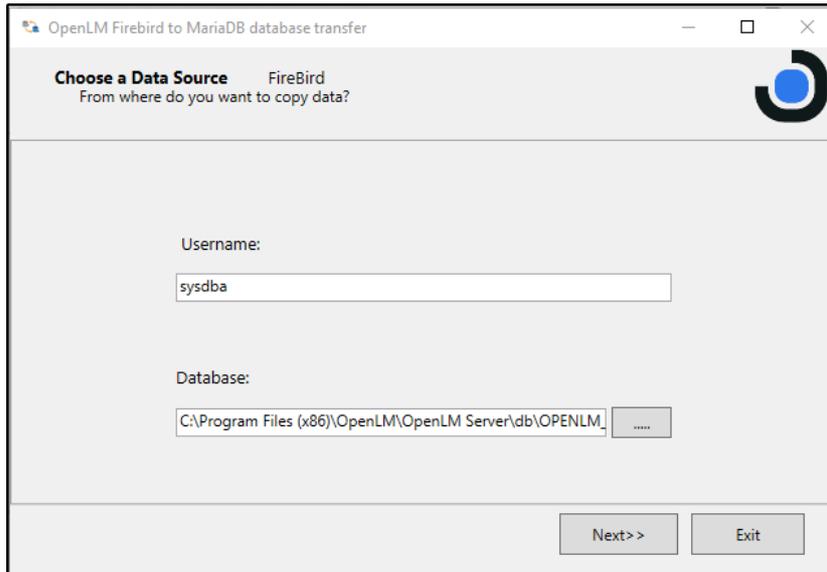
FirebirdからMariaDBへのデータ移行

OpenLM v5.6にはFbToMariaDBと呼ばれるユーティリティがっています

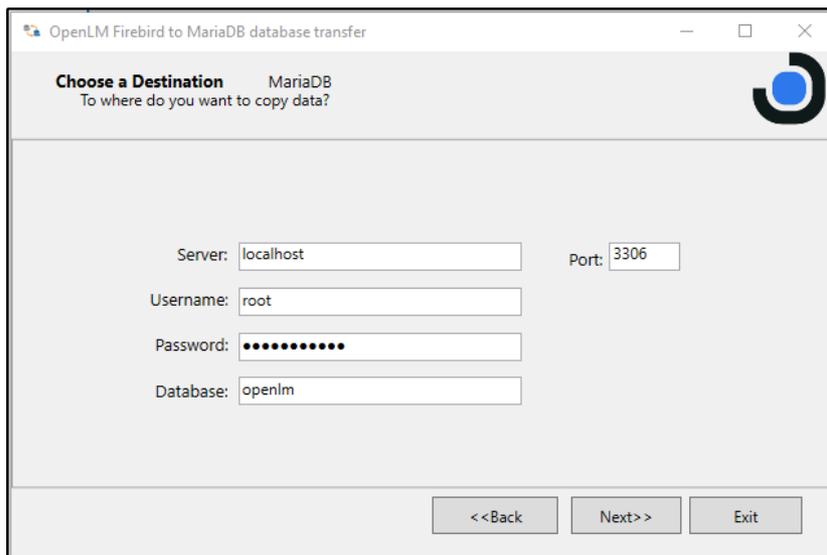
- Windowsのメニューもしくはデスクトップのアイコンからfb2mariadbを開始してください。



- このユーティリティは最初にFirebirdデータベースが使用されているか初期チェックを行います。その後、下記の様な詳細を記入するフォームが出ます。必要なら修正してください。

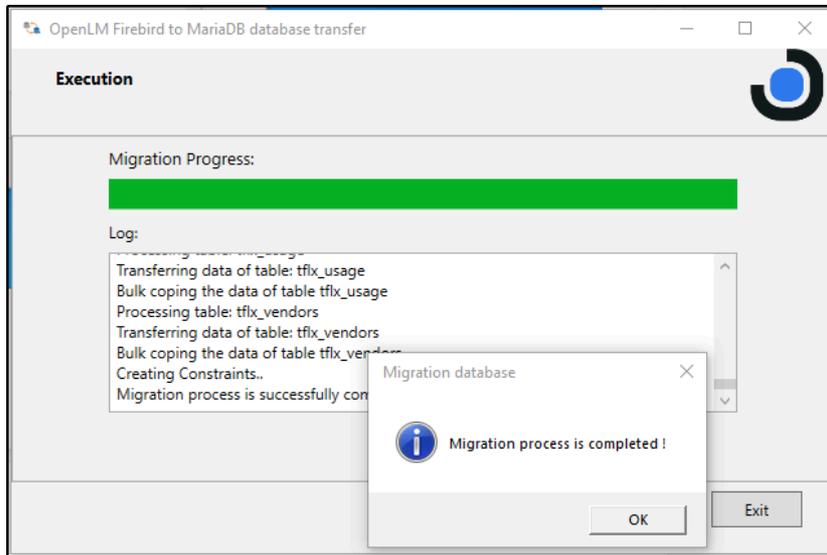


- MariaDBサーバーとデータベースの接続詳細を入力し、**Next (次へ)** をクリック



- データ移行プロセスが完了するまで待ちます。(データベースサイズによりかかる時間が変わります):

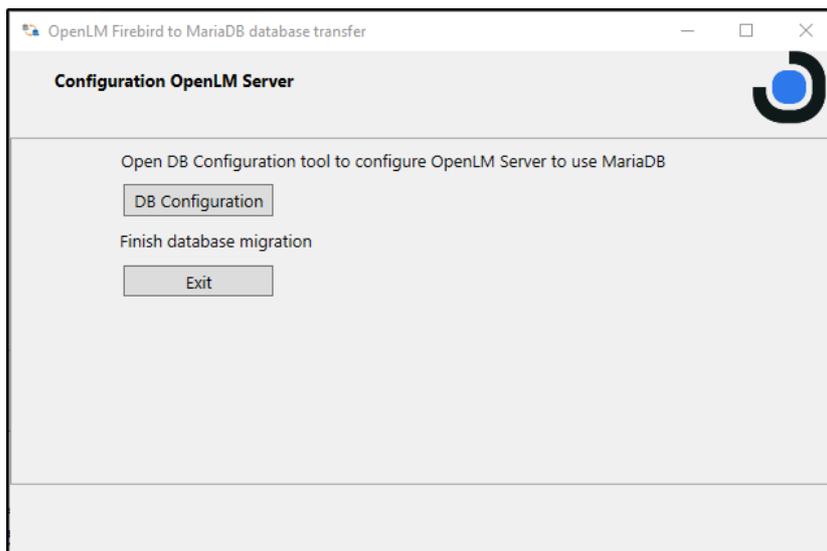




- ポップアップウィンドウを閉じて**Next (次へ)** をクリック

OpenLM ServerがMariaDBを使用するように設定

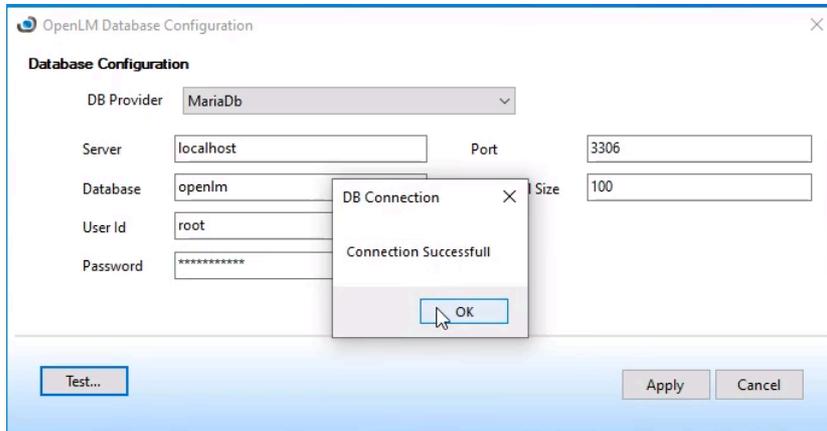
1. fb2mariadbユーティリティでは画面上で新しいMariaDBを設定する簡単なステップを用意しております。
2. **重要:** もしfb2mariadbでデータ移行に失敗した場合は、MariaDBへの接続の切り替えは行わないでください。



3. DB configurationボタンをクリック
4. ドロップダウンリストから、DBプロバイダーにMariaDBを選択



5. サーバーとデータベースを定義する
6. インストール中か新たに作成したユーザーIDとパスワードを入力
7. 接続をテスト
8. 成功したら、**Apply (適用)** ボタンをクリック



MariaDBへの切り替えが成功したか確認

切り替えが成功したかどうか確認するには、EasyAdmin（ブラウザUI）へ行き、ダッシュボードの左上コーナーのOpenLMロゴ付近に移動してください。

バージョン番号付近をマウスでホバリングして接続データベース詳細をご確認ください。

